

市議会だより



1月14日に福祉センターにおいて成人式が行われ、1,036人の参加がありました。
式典の後、記念品として配布されたカメラを手に、久しぶりに再会した同級生と記念写真を撮影する光景が見られました。

12月定例会の審議の結果について	2 ~ 3 ページ
常任委員会審査報告.....	4 ~ 5 ページ
一般質問の要旨.....	6 ~ 11ページ
議会一口メモ.....	12ページ
3月定例会の予定について.....	12ページ

平成12年度決算を認定

平成13年第6回可児市議会定例会が12月4日から21日までの18日間の会期で開かれました。この定例会では、平成12年度一般会計の決算認定や、本年度の補正予算、可児市文化創造センターの設置及び管理に関する条例の制定などの40議案が原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

		(単位：千円)		
		歳入決算額	歳出決算額	審議結果
一	般 会 計	28,003,654	26,646,530	賛成多数 認定
特 別 会 計	国民健康保険	5,044,396	4,768,977	賛成多数 認定
	老人保健	5,173,592	5,171,038	賛成多数 認定
	介護保険	1,651,753	1,651,675	賛成多数 認定
	簡易水道事業	14,571	13,805	全会一致 認定
	飲料水供給事業	5,261	4,796	全会一致 認定
	自家用工業用水道事業	149,395	146,867	全会一致 認定
	公共下水道事業	3,968,345	3,749,752	賛成多数 認定
	特定環境保全公共下水道事業	327,198	303,556	賛成多数 認定
	農業集落排水事業	177,434	176,236	賛成多数 認定
	西可児土地区画整理事業	199,615	199,608	全会一致 認定
	可児駅東土地区画整理事業	764,325	761,962	全会一致 認定
	各 財 産 区	33,857	29,606	全会一致 認定
	合 計	45,513,396	43,624,408	

決算認定

平成12年度可児市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算認定について、歳入額は次のとおりです。各会計の決算額は次のとおりです。

総額 45.5億1,339万5,730円、歳出総額 43.6億2,440万7,962円と

予算

次のとおり、平成13年度各会計補正予算を原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算（第3号）
 （全会一致）
 2億4,800万円を追加し、総額29.0億8,700万円となりました。その主な内容は、出先機関へのパソコン配置等情報化推進事業、市民公益活動支援センター整備事業、入所児童増加による保育園児童運営費負担金の増額、福祉医療費助成金の増額、市内5つの小学校でのLAN整備事業推進に関する経費などです。
 簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
 （全会一致）
 775.4万7,000円を追加し、総額936.4万7,000円となりました。主な内容は、東海環状自動車道建設事業に起因した、大平地区給水施設整備事業における土岐市分水送水管布設工事費及び電気計装改修工事費などです。
 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
 （全会一致）
 749.2万4,000円を追加し、総額4.0億3,802万4,000円となりました。主な内容は、流域下水道建設事業の増による負担金の増額などです。
 特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
 （全会一致）
 438.6万3,000円を追加し、総額4.4886億3,000円となりました。主な内容は、大平地区下水道管きょ布設工事費の増加分などです。
 可児駅東土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
 （全会一致）

の工事費などです。
 自家用工業用水道事業特別会計補正予算（第1号）
 （全会一致）
 23万2,000円を減額し、総額1億4,676万8,000円となりました。主な内容は、湧水による水道使用料の減などです。
 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
 （全会一致）

12月定例会

136万2000円を追加し、総額2億5276万2000円となりました。主な内容は、駅前事務所開設に伴う事務所改修費などです。

水道事業会計補正予算
(第1号)

(全会一致)

収益的収支においては、料金値下げにより収入で1億4500万円の減、支出では、県水受水費などの減と、減価償却費などの増との相殺による300万円の増とし、収支差引が4100万円となりました。

資本的収支においては、給水件数増加を下方修正し、収入を1000万円減額した一方、新低区配水場建設事業関連費増により、支出を2500万円増額するものです。

条例

国家公務員の給与改定に準じて、議員、特別職員、職員の期末手当の支給率を100分の5引き下げるなどの改正が、次のとおり4

件可決されました。

可児市議会議員の報酬等に関する条例の一部改正について

(全会一致)

可児市常勤の特別職員の給与に関する条例の一部改正について

(全会一致)

可児市職員の給与支給に関する条例の一部改正について

(賛成多数)

可児市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

(賛成多数)

可児市社会教育委員条例の一部改正について

(全会一致)

社会教育法の一部改正に伴い、社会教育委員の委嘱対象者の範囲を拡大するものです。

可児市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

(全会一致)

ウエイトリフティング場の建替え及びトレーニング室の新設に伴い、使用料な

どを改正するものです。

可児市文化創造センターの設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致)

施設及び備品の使用許可や利用料金など、同センターの設置及び管理に関して、新規に条例を制定するものです。

可児市知的障害者通所授産施設の設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致)

ふれあいの里可児にある「社会就労センター」を知的障害者福祉法に基づく知的障害者通所授産施設とするため、新たに条例を制定するものです。

(全会一致)

可児市ふれあいの里可児の設置及び管理に関する条例の一部改正について

(全会一致)



ふれあいの里可児での作業風景

可児市ふれあいの里可児の設置及び管理に関する条例の一部改正について

(全会一致)

ふれあいの里可児にある「社会就労センター」を法定施設とするための新条例を制定するに伴い、重度障害者支援センター」のみに関する単独の条例として、所要の改正をするものです。

可児市知的障害者通所授産施設の設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致)

ふれあいの里可児にある「社会就労センター」を知的障害者福祉法に基づく知的障害者通所授産施設とするため、新たに条例を制定するものです。

(全会一致)

可児市ふれあいの里可児の設置及び管理に関する条例の一部改正について

(全会一致)

平成14年3月31日に任期満了となる金子鷹子さん(土田・59歳)を、引き続き推薦することとしました。

人事

人権擁護委員候補者の推薦について

(全会一致)

平成14年3月31日に任期満了となる金子鷹子さん(土田・59歳)を、引き続き推薦することとしました。

その他

市道路線の廃止について

市道路線の認定について

(全会一致)

市道6100号線を廃止し、一部を改めて認定しな

おすものです。

財産の取得について(4件)

(全会一致)

可児市文化創造センターの物品を購入するものです。

事務室などの机類

相手方〃有限会社サワノ商

会可児店(中恵土2325番地)

契約金額〃5040万円

ロビーなどの机類

相手方〃有限会社一二三堂

(広見787番地の3)

契約金額〃4567万5000円

舞台照明関係

相手方〃丸茂電機株式会社

名古屋営業所(名古屋市中

区栄4丁目1番1号)

契約金額〃2814万円

舞台音響関係

相手方〃ヤマハサウンドテ

ック株式会社名古屋営業所

(名古屋市中区錦1丁目18

番28号)

契約金額〃2100万円

健康保険本人3割負担、

高齢者2割負担などの患者

負担引き上げの中止を求め

る請願書

(賛成少数不採択)

請願

健康保険本人3割負担、高齢者2割負担などの患者負担引き上げの中止を求め

る請願書

(賛成少数不採択)

常任委員会の

審査

委員長報告から

総務企画委員会

平成12年度一般会計歳入

歳出決算認定について

質疑 財務会計システム機

器借上料が減少した理由は、

答弁 平成6年から導入し、

利用期間が長期になり、再

リースになってきているものも

あるためである。

質疑 市債の利率が違う理

由は。

答弁 借り入れ時に金利が

決まっている政府資金等に

比べ、民間資金からは、競

争入札により低く借り入れ

することができると。

質疑 公有地の財産処分は

どのような状況か。

答弁 現在81筆、約1万1

500㎡ほどあり、財源と

なるよう可能な限り処分し

ていきたい。

平成12年度各財産区特別
会計歳入歳出決算認定につ

いて

質疑 一般会計の繰り出し

はどのような理由からか。

答弁 財産区の維持管理以

外のものについては、一般

会計に繰り入れて執行する

ものである。

経済福祉委員会

平成12年度一般会計歳入

歳出決算認定について

質疑 全国社会保険協会連

合会補助金とは、公的な病

院として岐阜社会保険病院

へ補助してきたものか。

答弁 同病院は、厚生労働

省の管理下であり、公的な

病院であることを前提に、

市民病院の代替病院として、

最大限助成できる範囲で取



岐阜社会保険病院

り組む必要がある。

質疑 工場誘致条例による

奨励金の交付を受けた企業

からは、どのような報告を

受けているか。

答弁 15人以上の新たな雇

用と固定資産の内容について

提出していただき、交付

している。

平成13年度一般会計補正

予算について

質疑 生ごみ処理機設置等

補助金が減額となった背景

は。

答弁 購入者が一通りした

か、不景気の影響が考えら

れる。今後も様々な媒体を

利用して一層のPRに努め

たい。

知的障害者通所授産施設

の設置及び管理に関する条

例の制定について

質疑 ふれあいの里可児の

社会就労センターを法的に

通所授産施設とした経緯は。

答弁 入所の条件や定員の

問題があったが、グループ

ホームへの対応など、新し

い展開を試みてはどうかと

いうことからである。

健康保険本人3割負担、

高齢者2割負担などの患者

負担引き上げの中止を求め

る請願書について

・不採択とすべき意見

制度が破綻する危機に直

面し、しっかりとしたシス

テム作りが喫緊の課題とな

っており、患者の負担増中

止だけを求める意見書を提

出することは、市議会とし

てふさわしくないのではな

いか。

高齢者の医療費が占める

割合も高く、高齢化が進展

しているなか、この年代層

の負担や医療保険の保険料

引き上げをやめる事には同

調できない。

小泉政権も改革を打ち出

し、お互いに痛みを分け合

い高齢化社会に向かおうと

しており、時期を待ったほ

うがよい。

医療費国庫負担の不足を

診療報酬の引き下げと患者

負担増などの制度改革で補

う対策でよい。

(賛成少数で不採択)

文教委員会

平成12年度一般会計歳入

歳出決算認定について

質疑 体験学習事業はどの

ようなシステムで行われて

いるか。

答弁 各学校での検討委員

会等の案を職員会で検討し、

年間計画をもとに中間研修

などを行い、詳細な報告書

を提出している。



体験学習の様子(春里小)

12月定例会

質疑 教育委員会では、具体的な方針等の内容を検討されるべきでないか。

答弁 教育委員の使命は、教育行政で立案されたものについて、理解と意見をいただくことである。委員はそれぞれの立場で努力いただき、職責を果たしていただいている。

質疑 不登校への対策と成果はどうか。

答弁 教育研究所の適応教室での指導や、小学校でのほほえみ相談員、中学校でのスクールカウンセラー、心の教室相談員の配置などの施策を行い、数字的には表れていないが、成果は上がっている。

文化創造センターの設置及び管理に関する条例の制定について

質疑 舞台などでの火の使用はどうか。

答弁 事前の専門技術員との打ち合わせと消防署との協議により許可していく。

質疑 利用促進はどのように考えているのか。

答弁 受身でなく、営業的な手法も行い、稼働率70%

を目標としている。

建設水道委員会

平成12年度一般会計歳入歳出決算認定について

質疑 土木費の不要額の要因は。

答弁 事情により調査設計委託や用地取得ができなかったことによるもので、今後は的確な予算執行を行い、最大限少なくしたい。

質疑 屋外広告物の乱立への対応は。

答弁 12年度より県から移譲を受け、撤去作業を行っているが、まちづくりの条例化など抜本的な対応が課題。

平成12年度公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業各歳入歳出決算認定について

質疑 水洗化率向上の対策は。

答弁 現在67.4%であり、不況の影響もあるが、宅内工事費への利子補給制度の紹介や、各家庭を訪問し普及の啓蒙に努める。

平成13年度簡易水道事業特別会計補正予算について

質疑 東海環状自動車道の大平トンネル工事での影響と対策は。

答弁 簡易水道の土岐市からの暫定的な分水と、井戸水利用者については、簡易水道に加入していただく方向で進んでいる。



建設が進む大平トンネル

平成13年度公共下水道事業特別会計補正予算について

質疑 木曾川右岸流域浄水事業負担金の補正の理由は。

答弁 各務原の浄化センターへの流入量が増えたことによる施設の整備拡充に伴うものである。

平成13年度公共下水道事業特別会計補正予算について

定例会での議案審議の流れ

本会議	議案の提出	市長が議会に提出します。
	提案説明	提出された議案について、その理由及び内容の説明をします。
	質疑	提出された議案について、議員が疑問点を問います。
委員会	委員会へ付託	委員会で審査を行うため、各議案を所管の委員会に付託します。
	委員会審査	付託された議案を専門的に詳しく審査します。
本会議	委員長報告	委員会での審査の経過及び結果を報告します。
	質疑	委員長報告に対して質疑を行います。
	討論	議案について、賛成あるいは反対の意見を述べます。
	採決	多数決によって、議案に対する議会の意志を決定します。



アイドリングストップの実施

一般質問

市町村合併について市長の考えは

渡辺 重造

可児市民のメリットを第一に考える

山田市長

問 合併を考える時、市民のメリットを最大に考える必要がある。

良好な財政状況、人口増など、比較的バランスが取れている本市と合併しようとする機運が近隣市町村の中で高まる事が予測される。市町村合併問題について市長の考えは。

答 本市は可茂地域との交流が多く、この人の流れは重要な要素と思う。可茂地域市町村合併研究会は任意の合併協議会の立ち上げを検討する。市民のメリットを第一に考えるが、地域全体の発展なくして本市の発展は望めないと考え方も必要と思う。

問 新年度の予算編成のポイント

市長就任時と比較をすると、製造業の海外シフト・少子高齢化・市町村合併問題など、市政を取り巻く環境は大きく変化しているが、新年度は何を主要施策のポイントに予算を編成されるのか。

答 文化創造センターでの文化芸術活動の推進、介護保険・少子高齢化に向けた総合的福祉施策の推進、資源循環型社会の構築、環境施策、生活関連社会資本の整備、教育環境整備・生涯学習の推進、情報化の推進などを重点施策とし、個性豊かで魅力ある創造的な施策を実施していく。

個性豊かで魅力ある創造的施策を
山田市長

本市地球温暖化実行計画の運用は ISO14001に沿って行う

問 気候変動枠組条約第7回締結国会議で、地球温暖化を防止する為の京都議定書が合意され目標達成に向け動きだした。

本市ではすでに、ISOの取り組みで『実行計画』を策定し、具体的な課題ごとの数値目標を定めているが目標は達成されているか。

答 電気使用量で3%、ガソリンなどの燃料では1%の削減ができているので、ISO14001の目標に向かって推進できていると思う。今後も継続的に改善し、推進することで平成14年度の目標を達成したい。

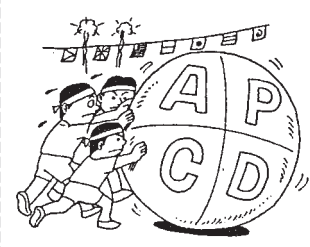
小川 ふき
古田環境経済部長

問 可茂地域主導ではなく公正な情報提供を行政主導で後に住民同意を求めるという従来の行政手法では真に自治を担える合併は有り得ない。どの合併パターンでも市民が比較考量を公正にできるだけの情報の整備が必要である。その予算措置は。

答 資料作成については可茂地域は広域事務組合で作っている。東濃3市1町は現在調査を進められていると聞いている。その資料をいただき、可茂地域の資料と合わせて検討したい。

東濃三市一町から資料を取り寄せる
宮島企画部長

仕事を管理するサイクル



- PLAN 計画立案
- DO 実施
- CHECK 評価検証
- ACTION 改善

スクラップ・アンド・ビルド：
 新設（ビルド）する場合には、既存のものを改廃（スクラップ）するなど、全体の増大を抑えていくこと



市役所をはじめとする中心市街地

全市民が参加の市制20周年を

特典付の葉書は、十分検討する

川手 やすたけ

山口助役

問

平成14年の佳節は全市民が喜び、参加することが大切である。

このため全国の親戚、友人などへ市の葉書を出してもらおう。その後先方がわが市へ来てもらえるよう、文化創造センターでの催し物や特産品などの割引ができる絵葉書の作成を提案する。

答

大きな節目の年は、市の宣伝の好機である。全員参加できる絵葉書は懐かしい人の心が通う媒体となり故郷を思うこともできる。

よって記念の年にふさわしいものであるので、課題もあるが趣旨に沿い十分検討していきたい。

問

目的別フリー企画バスの運行を

さつきバスの運行も順調である。今後は、市民ニーズに合った通院、買い物などの目的に応じたルートバスの運行を増車と合わせ考えたらどうか。

また、運行も第三者機関を結成し、運用できないか。

答

路線バスとの競合の問題や、高齢化でバス需要は増大するが、福祉施策としては限界がある。随時見直しは行っていくが、そう遠くない期間に、増車とあわせ、第三者的機関の提案の検討も含めて考えていきたい。

近い将来、増車とともに十分考える
 山田市長



現在さつきバスは4台で運行

中心市街地活性化事業について

目的達成のため努力していく

中村 悟

曾我建設部長

問

春里坂戸地区において大型店が開店し、

今後さらに大型店の出店が予定されているなど、商業施設などの拡散がますます進行している。本市における中心市街地活性化事業は基本計画どおり実施していくのか。拡散した各地区との連携をどう考えるのか。

答

本市の中心市街地は、商業以外で行政

の中核である市役所、文化施設が多く立地し、すべての機能が低下しているわけではない。分散した各街地を道路ネットワークで一体化し、分散型都市から多角型都市構造へと転換していくことが方向と考える。

問

新年度に向け補助金への取組みは

厳しい財政運営の中で自治体も真剣にその取り扱いについて検討されている。新年度予算編成に向け、どのような姿勢で取り組んでいるのか。

答

行政の責任分野、経費負担のあり方、行政効果などを再精査し、運営への補助金は事業費への補助金へ転換を検討する。

整理統合などスクラップ・アンド・ビルドの原則を徹底するなど、前向きな形での指示をした。取扱要領を作成し、見直し方法などの説明をした。

管理機能の強化、指導を充実

長瀬総務部長

一般質問

一般質問

雇用の拡大と中小業者対策の推進を

伊藤 健 二

小口融資の利子補給率引き上げを検討

古田環境経済部長

問

待ったなしの雇用情勢で暮らしを守る自治体の役割はますます大きくなっている。緊急地域雇用交付金活用は、本市の雇用独自対策は、緊急つなぎ融資創設など、市の小口融資（無担保・無保証人融資）の充実などを求める。

答

来年度に11事業を申請中。独自対策はまだ無いが委託など雇用増大に努力する。商工業者の実態把握では、有効な方法を考えていきたい。現行制度の活用で対応し、つなぎ融資制度は作らない。小口融資の利子補給率を引き上げるよう検討中。

問

文化創造センターの財政運営は以前から規模を縮小し財政負担を軽く主張してきた。費用は年額10億円近くにもなる。固定経費、事業費などの約5億円についての財政計画はどうか。枠組みは。文化創造直結の事業費の考え方は。

答

文化事業の質を落とさないようにする。事業収入と補助金収入で100%近くを占める。支出は鑑賞事業や施設管理費などの事業費が約60%、総務管理費が約40%となる。文化事業費は同じ水準を短期計画の3年間維持したい。文化事業の質を落とさないように努力し、文化振興財団を援助する。

文化事業の質を落とさないようにする
武藤教育部長



完成間近な文化創造センター



10分間読書の様子（広陵中）

毎朝の10分間読書、全校で実施を

服部 よね子

各学校で読書指導の充実に努める

渡辺教育長

問

活字離れが進んでいる現在、衆知を結集して、若者が良書に親しんでいける環境を創っていかなければならない。

答

読書は、豊かな情操や創造力を育成する上で非常に大事である。朝の10分間読書は、先進実践事例などを見るとその成果が十分認められる。各学校に対して推奨しているが、学校長の裁量に任せられるので、積極的な取り組みを指導・助言していく。

問

児童虐待防止に期待される新講座は増加する児童虐待などを減らすと、来年度から新たに、子どもとの心の触れ合いについても教える妊娠期子育て講座が開催される。講座に参加しない人のフォローを含めてどう取り組む予定か。

答

時宜を得たもの、工夫をして実施
武藤教育部長
現在妊婦とその夫を対象に「プリパバ・ママセミナー」を行っており、これとの整合・連携を図りながら実施していく。教育を受ける気のない方に対して、知恵を絞ってできるだけの機会を捉えて配慮するよう努力をしていきたい。

始業前の10分間に行う読書は、多数の学校で実施されていて、その教育効果が注目されている。この早期実施を再度提案する。

本市の経済活性化を

すみ 眞一郎

市内企業の受注機会拡大に配慮する

長瀬総務部長

問

経済の不況は、今日さらに厳しさを増している。本市の経済は本市で守るといふ自主防衛策が必要であると考え、市の予算を、市内で消費

答

市外への発注額は、平成12年度で約20億円あるが、可能な限り市内の企業に発注することを基本としており、今後とも、市内企業の受注機会の拡大に一層の配慮をしていく。「買い可児運動」は、まちの活性化に結びつく提案なので前向きに検討していく。

問

「花のまち」の本市で、市内に花のまちを実感させるものがない。

答

菜の花の有効利用を
菜の花を利用する施策は、地域振興、環境保全、循環型社会の形成などに対し効果が大きい。廃食油のリサイクル燃料なども含めて先進事例を参考にし、米の転作事業や環境基本計画スタートアップ事業などで調査研究を行うことが可能な点から取り組む。

障害者プランに数値目標の設定を

富田 牧子

見直しの中で表記を検討していく

浅野健康福祉部長

問

前回の「可児市住みよい福祉のまちづくり基本計画」では、18項目が未着手で終わっている。前計画には見直しと数値目標がなかった。今年度からの新基本計画には、ぜひ数値目標を入れるべきである。県では圏域別の数値目標が設定されている。

答

新基本計画は156項目について、A、B、C、継続とランクづけをした。平成15年度までに取り組むのは36項目で、鋭意、着手していく。そして、今後の見直しの中で、数値目標の表記については検討していく考えである。

問

早期に名鉄西可児駅舎の改築を
名鉄西可児駅のバリアフリー化は実現の運びとなった。合わせて駅舎改築をして、市人口の四分の一が住む地域の「顔」にふさわしい駅にしてほしい。新鷺沼駅は2億円で駅舎改築が行われた。

答

西可児駅のバリアフリー化事業では階段の昇降、トイレなどを整備する。西可児の顔という点では、デザイン性、景観の向上からも現在の駅舎が十分でないという理解している。新鷺沼駅改築の例も挙げ、西可児駅もできないかと名鉄に積極的に要望していきたい。

名鉄に積極的に要望していきたい
曾我建設部長



可児市「住みよい福祉のまちづくり」基本計画書

一般質問



一面に広がる菜の花

一般質問

気安く、有効に活用するためには

村上 こうし

楽屋は舞台の一部と考える

武藤教育部長

問 市民の期待が大きい文化創造センターが

今年7月オープンする。

この施設は芸術・文化に関する創造活動、知識、技術の養成が主な目的であるが、誰もが、気軽に利用するための施策は。また12ある楽屋を会議室、談話室として活用できないか。

答 情報コーナーで芸術に関する各種の文献や資料が閲覧できたり、ラウンジなどでくつろぎながら打ち合わせできるスペースも考えている。

楽屋は本来、舞台の一部分として考えており、建設時から個別での利用は想定していない。

市所有地の売却について

問

信号機の増設や道路、歩道の整備、消火栓

防火水槽など公共物を建設する場合、土地の確保に非常に苦心している。反面、将来必要と思われる土地が売却されているが、どの機関で決定されるのか。

基本的に未利用地は処分

山田市長

答

「ポケットパーク」などいろいろな形で

残すことも必要と思うが、厳しい財政状況の中で、遊休地を放置しておくことは徹底して見直していきたい。処分については近隣の土地所有者との関係などケースバイケースであるが、慎重に慎重を期して議論している。



市道沿いのポケットパーク（川合）

大雅 清光

武藤教育部長

広見公民館の機能はどうなるのか
他の公民館と同様の体制とする

問

現在の広見公民館は他の公民館とは随分使い勝手が違い、社会教育法に定める公民館としての本来の機能ができていないのではないか。

答

文化創造センターの開館により、生涯学習センターで代替している文化面の事業を移行できる。広見公民館を他の公民館と同様の体制にするべく鋭意検討する。

問

中恵土広見線の延長はできないのか

答

都市計画道路・中恵土広見線は、NTTまで整備するが、NTTより南の市道については、将来整備される可児駅前線に合わせて検討をする。国道248号線までは考えていない。また、市道118号線の交通規制は公安委員会に要望していく。

また、広見公民館としての明確な位置付けのもとに使用できるようにする。



生涯学習センター

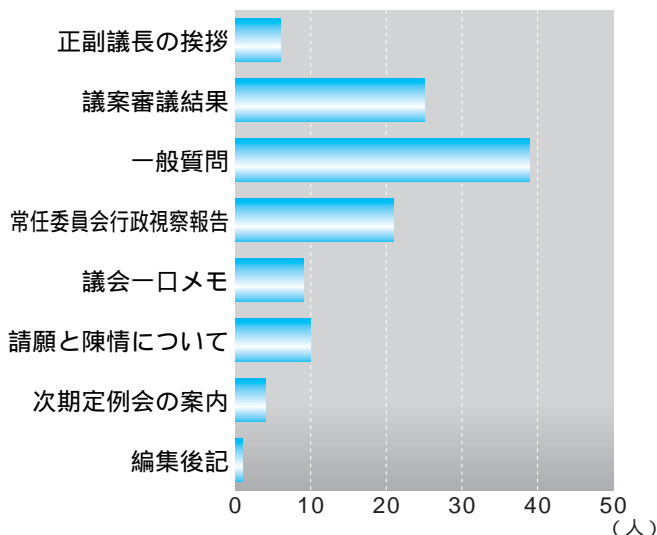
掲載以外の一般質問

- 渡辺重造 ・平成13・14年度の税収見込みは
・人事評価制度と行政評価について
- 小川ふき ・国の構造改革の中での本市の行政改革は
- 中村悟 ・まちづくり条例への取り組みについて
・消火栓・防火水槽の設置について
- 伊藤健二 ・市職員の労働時間、年休取得改善、増員について
・高レベル放射性・核廃棄物の地層処分研究施設について
- 服部よね子 ・緊急地域雇用創出特別交付金の積極的活用を
- 角眞一郎 ・ICカードの研究状況は
- 富田牧子 ・市町村合併について
- 村上こうし ・市町村合併について
・松くい虫対策について

一般質問の問・答は議員自ら執筆しています。ご不明な点は直接議員にお尋ねください。

市議会だよりアンケート結果から

「創刊号の内容で興味を持たれた記事は何ですか?」との問いに対しては下記のとおりでした。



柿下地内における県道の改良事業は未買収地の解決と、県に採択延長を

かすみ直孝

曾我建設部長

問

県道多治見・八百津線の柿下ため池から多治見市境界まで約1・3kmの道路拡幅工事について現在の進捗状況はどうか。柿下集落を縦断する同県道は、道路幅も狭く交通量が増加している。引き続き事業化できるよう県に対して働きかけをされたい。

答

現在の進捗率は用地買収で32%になる。同路線での柿下集落の道路整備は、現行の事業にめどをつけてから、採択延長をするよう県に対して要請する。今後とも一層地域住民参画型道づくりの意識のもとにご協力願いたい。

問

豪雨時の洪水による災害の防止策になる。市民農園事業による自然を残す為の積極的な取り組みはどうか。

防災の観点から
休耕地の活用を

問

田畑が年々商業施設や住宅建設で埋め立てられている。少しでも多くを田畑として残すことが、

答

今後必要動向や土地所有者の理解を得ながら、必要に応じて対応したい。広報でもPRする。

遊休農地を
市民農園として開設
古田環境経済部長



市民農園(柿下)

議員報酬について

議員には、議員報酬が支給されます。
報酬額は公共団体及び市民の代表の方によって構成される市の特別職報酬等審議会の意見を聞き、条例によって定めています。

全国では、人口8万～12万人の市が93市あり、その平均は、人口96,917人、議員定数27.4人、議員報酬月額447,000円となります。

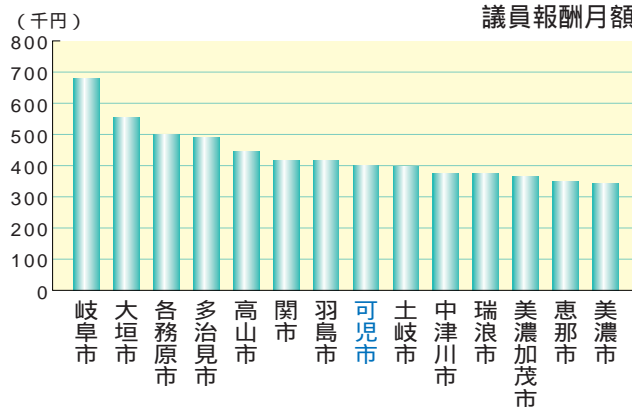
可児市議会議員の報酬は右のとおりで、3、6月及び12月には期末手当が支払われます。報酬月額は平成6年4月から現行額となっています。

可児市議会議員の報酬月額

(単位：円)

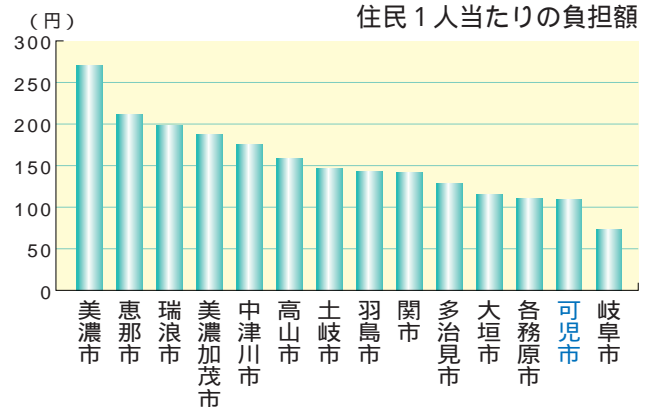
	報酬額
議長	480,000
副議長	425,000
委員長	410,000
議員	400,000

岐阜県下の状況



県内の最高額は、岐阜市の680,000円です。

(報酬月額は平成13年9月現在)



可児市の市民一人当りの負担額は、月額109.1円です。

月額議員報酬額×議員数÷人口(平成13年4月1日現在)

次の定例会は

3月です

あなたも市議会を

傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。

市政を知っていただくためにも、お気軽にお出かけください。簡単な手続きで傍聴できます。

一般質問はケーブルテレビで放映されています。

3月定例会のお知らせ

5日 開会

(議案提案説明)

12日 一般質問・議案質疑

15日 建設水道委員会

18日 経済福祉委員会

19日 総務企画委員会

20日 文教委員会

22日 最終日(委員長報告・討論・採決)

(22日は午後2時、その他は午前9時30分より開会)

日程は予定ですので、変更されることもあります。

編集後記

世界中が大きな希望を持って幕を開けた21世紀初年の昨年は、不況が益々深刻になり、倒産、リストラの嵐が吹き荒れる激動の年となっていました。今年こそは平和な良一年になるようにと願いながら、可児市議会も知恵を出し合い、市民の暮らしに元気を取り戻せるように、頑張りたいと思います。

議会だより編集委員会

委員長 渡辺 重造

副委員長 伊佐治昭男

委員 加藤 新次

委員 富田 牧子

委員 角 眞一郎

委員 小川 富貴

委員 霞 直孝

委員 服部よね子

